

今、私たちにできること。

～もう一度考える、青年国際交流活動の成果と私たちの取組～



参加者募集

平成25年度 北海道・東北ブロック 青少年国際交流を考える集い

とき：7月13日（土）・14日（日）

ところ：福島県福島市 飯坂温泉 あづま荘

日本青年国際交流機構(略称 IYEO)は、内閣府青年国際交流事業^{※1}(裏面参照)の既参加者を中心として、ボランティアで社会活動に取り組んでいる非営利団体です。全国47都道府県に都道府県青年国際交流機構があり、「船と翼の会ふくしま」は福島県青年国際交流機構にあたります。

今回の集いでは、「私たちにできる社会活動」をキーワードに情報や意見の交換をし、さまざまな活動をしている方々がネットワークを築き、より充実した活動ができるようになることを目指します。国際交流やボランティア団体活動にご興味のある方はぜひご参加ください。

主催：内閣府、日本青年国際交流機構、
一般財団法人青少年国際交流推進センター、船と翼の会ふくしま
後援：福島県、公益財団法人福島県国際交流協会

プログラム

7月13日(土)

13:30-14:00	受付
14:00-14:30	開会式
14:30-15:15	全体会 「今、私たちにできること」 組織活動を活発に行うためのポイントを、船と翼の会ふくしまの活動を事例として紹介します。
15:30-17:00	分科会 ①カメルーン子ども応援プロジェクト 「船と翼の会ふくしまがつないだ日本とカメルーン」 カメルーンという遠い国の小さな村の子どもたちの夢を、経済的自立の観点から応援するプロジェクトを紹介します。  ②国際理解ワークショップ 「船の中の大事件」 青年国際交流事業の体験の一つを、国際理解教育の教材としてワークショップにしました。  ③葛尾村のふくろう作り 「避難所から巣立った100羽のふくろう」 避難生活を送った福島県葛尾村の有志が感謝の意を表すために作った「ふくろう」のぬいぐるみのお話を伺い、ふくろう作りを体験します。(材料費300円当日集金) 
17:00-17:30	分科会報告
18:30-20:30	懇談会

7月14日(日)

9:00-11:00	ワークショップ 「社会貢献、いつやるの？いまでしょ！」 今大会2日間のまとめとして「今、わたしたちにできること」とは何かを参加者全員で考えます。
11:00-11:30	帰国報告会 平成24年度青年国際交流事業参加者によるパネルディスカッションを行います。
11:30-12:00	閉会式

参加費

日帰り参加(全体会・分科会) 1,000円
日帰り参加(全体会・分科会・懇談会) 8,000円
全日程参加(全体会・分科会・懇談会・宿泊) 14,000円

申し込み期限：6月29日(土)

※大会当日、震災復興及びカメルーンの子
ども応援プロジェクトのためのチャリティー
グッズの販売もあります。

お申し込み・お問い合わせ

北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い実行委員会
電話：090-6223-1910(日下部) / メール：funetotubasa@hotmail.co.jp
詳細はこちらをご覧ください <http://www.iyeo.or.jp/fukushima>

内閣府青年国際交流事業^{※1}とは

日本と世界各国の青年の交流を通じて、国際化の進む社会の各分野で活躍できる青年リーダーの育成と、各国との相互理解と友好の促進を目的とした事業です。

平成25年度は、国際青年育成交流、東南アジア青年の船、日本・中国青年親善交流、日本・韓国青年親善交流、青年社会活動コアリーダー育成プログラム、グローバルリーダー育成事業を実施予定です。